

一般会計予算案に対する賛成・反対の意思表示の要旨

3月22日の本会議で平成23年度一般会計予算案に対する表決に先だち、各会派等から賛成・反対の意思表示が行われました。各会派等がまとめたその要旨を、一定のスペース内で様式は自由に討論の順番で掲載しています。

緊急事態対応予算 後に十分な議論の保障を！

市民サイド

皆川 りうこ（所属4名・賛成）

このたびの東日本大地震により被災された方のご冥福を祈り、お見舞いを申し上げます。

地震、津波に加えて、原発事故による健康被害や経済活動への影響は計り知れません。

本予算は、3月11日の予算審議一旦中止後の再提案となりました。その準備と地震後の対応のために奔走された市職員、嘱託、臨時職員はそれぞれの立場と役割の中で、市民の健康と安全のために業務を遂行しました。行政は、市民の安心、安全のために最後の砦としての勤めがあります。地域では高齢者、子どもの見守りなど日頃の取り組みがあればこそこのこと、感謝申し上げます。

本予算に関わり指摘事項、考え方、その結論

①今なお、市民からの問い合わせなど混乱を生じていますが、後の検証、評価が必要になります。改善すべきところは改善すべきです。地域防災計画の見直しも迫られることとなると思います。対応を求めています。

②予算審議の中で、奇しくも国分寺市の災害対策は、大丈夫だろうかと不安を募らせるほど減少した財政調整基金に異論が続出しました。この間、議会での指摘事項を見直すことになり、結果的に財政調整基金の残高を確保することを目的とした組み替え予算の提案となりました。予算の考え方を示したなかにある「財政調整基金が大幅に減少しております」等の表現はひとつとあり無責任極まりない。市長の危機管理意識が問われる問題です。本来は議会の指摘を受けずとも市長としては、責任ある予算を提案すべきでした。

③再開発事業は、補償費など権利者対応として、避けることができないもののほか、本予算は、当分の間、市民の生命と財産、健康を守る業務とその仕組みづくりを最優先とした。他は先送り必要最小限にとどめたゼロベース予算といえます。被災地のことを考えるにこれを一年間踏襲するくらいの気持ちで執行していただきたい。

市の政策、施策、事務事業の根本的見直しの契機と考えます。

④被災地の実態を鑑みて可能な限りその支援に努めるべき。行政機能の発揮、議会も一丸となり信頼される市政に向け取り組むべき事態です。

⑤今求められる待機児解消策、高齢者、障がい者等の福祉施策は優先すべき課題だ。優先順位を明確にしたメリハリのある市政を求めます。

⑥4月の統一地方選挙後の議会において、再度23年度の予算審議がなされます。今回はまさに緊急事態であり、そのために対応すべき予算としてその判断に至りました。前段で述べた指摘事項をはじめとして、財政調整基金はなし崩しの支出は避け、支出の際は、議会へ報告し後日わかるような措置を講ずること。

⑦庁舎基金条例は、機を逃さずに再提案することを強く求めています。

本予算は、当然なことながら、不十分な点、賛同しかねる内容も含まれています。

しかし、未曾有の緊急事態へのやむを得ない対応であることを鑑み、また次の機会でも徹底審議を行うことを前提として賛成といたします。

震災に学んだ コミュニティの力を市政運営に

生活者ネット・市民クラブ

梁川 律子（所属4名・賛成）

生活者ネット・市民クラブを代表いたしました賛成の立場での討論をいたします。初めに、東北地方太平洋沖地震で被災された皆様にお見舞いを申し上げます。それとともに、我が市においても電力供給確保のための計画停電等の震災対応、あるいは一般会計予算の組み替えなどに対する職員のご苦勞に大変感謝申し上げます。

今後の予算執行について一言申し上げます。市長は市民の生命、健康、福祉を守ることを基本とし、災害対策に必要な事業を優先させる予算の組み替えを行いました。その際の事業見直しの着眼点として付け加えていただきたい点を申し上げます。今回の災害において、市民のコミュニティが基礎になって、そこから人々の力が湧いてくる、あるいは行政だけでは背負いき

れない部分を市民の力で補う事例が数多く報道がされ、そのことがはっきりと伝わっております。市民が今後、継続的に行う事業に対して、ボランティア、あるいは受益者負担も考えながら、コミュニティの構築にさらに力を入れていただきたいと思っております。その組み替えについては市民参加により、再度、どの事業が必要なのかをご検討いただきたいと思っております。

今、この閉塞感の中で何よりも求められていることは市民に対して正しい情報をわかりやすく発信していくことです。同時に機敏な対応と全職員が現場を知るといった意識を持って、一丸となってことに当たっていただくことを要望します。

今回の国分寺市長と国分寺市議会の賢明な政治的判断を大変支持するものです。思えば、昨年の12月、平成22年度予算に「消極的な立場から賛成する」とした我が会派ですが、その決断が正しかったことは時間と共に明かされると確信いたします。また、23年度当初予算を骨格とした市長と、それに対するの正副議長のそれぞれの立場でのリーダーシップと決断を最大限評価いたします。

また、今後ことに当たる際に「地震国日本にあって、どのような国づくりをするのか」という新たな試金石が与えられたのではないのでしょうか。必ずや有史以来の大惨事を乗り越え、復興・復興へ向かって、国分寺市民、日本国民が一体となって歩み始める今日としなければなりません。そのような願いや期待や決意を表明し、賛成の立場の討論といたします。

音声配信について

市議会では、2月20日(日)に行われた「平成23年度施政方針に対する各会派の代表質問」の様相を国分寺市議会のホームページで音声配信しております。

議事担当（内468）

「日曜議会」を開催

今定例会の初日（2月18日）に、市長から施政方針が発表され、それに対する各会派からの代表質問を2月20日(日)に行いました。

日曜日ということで、平日よりも多数の傍聴者の方にお集まりいただきました（内訳は右記のとおり）。

今後も1人でも多くの方に傍聴していただけるよう努力し、開かれた議会を目指します。

傍聴者人数年代別集計			
20歳未満	0人	50歳代	5人
20歳代	0人	60歳代	21人
30歳代	8人	70歳代以上	12人
40歳代	10人	年齢不明	5人
合計		61人	

議事担当（内468）

次の定例会開催予定

議会はどなたでも傍聴できます。

平成23年第2回定例会は、6月8日(水)から開会の予定です。

なお、市議会議員選挙後の議会人事等を決定する第1回臨時会(会期1日)は5月26日(木)に開催する予定です。※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

議事担当(内468)